

技術講習会 第12回「安全工学実験講座」

安全工学会では、安全工学の必要性を幅広い分野の方々にご理解を戴くために、本講座を企画いたしております。プログラムは①安全工学関連物性 ②過去の事故事例を参考にしたモデル試験 ③座学による試験法と安全性評価の基礎知識習得 の3講座からなっております。

今回は、一般向けに「各種引火点試験器と測定値の違い」と化学会社向けに「過酸化水素を酸化剤とした合成反応工程における気相部の着火・爆発と液相部の異常反応」に焦点をあてた講座を用意いたしました。より多方面からの参加をお待ちしております。実験講座参加者には講座内容を記録・編集したCD(VTRを含む)を後日お届け致します。

- 主催： 特定非営利活動法人 安全工学会
- 開催日時： 2013年5月27日(月)11:00 上越線(渋川駅) (1泊2日)
28日(火)16:30 解散予定 (渋川又は高崎駅)2日間
- 会場： 日本カーリット(株)危険物評価試験所 群馬県渋川市赤城町北赤城山

◆プログラム

5月27日(月) 第1日	
11:00	渋川駅集合
12:00~13:00	昼食、実験講座説明
13:00~14:00	(1) 爆発や発火・火災のデータ測定 イ. 有機溶媒の燃焼性評価として、引火点及び燃焼点 ロ. 物質の反応性評価として、落つい感度、摩擦感度、圧力容器
14:10~15:30	(2) 事故のモデル試験ーヒドロキシルアミンの濃縮による分解爆発
15:45~16:45	宿舎へ移動
17:00~19:00	(3) 座学 2講座 講師：日本カーリット株式会社 担当課長 鈴木康弘氏 国連危険物輸送及び消防法危険物判定試験法の解説 講師：有限会社PHAコンサルティング 代表取締役 飯塚義明氏 作業前のセーフティアセスメントとして、問題点と改善策について、ディスカッションし、翌日検証試験を見学します。今回は、気相部の着火・爆発に焦点を当てます ② 作業前のセーフティアセスメントとして、問題点と改善策について、ディスカッションし、翌日検証試験を見学します。今回は、気相部の着火・爆発に焦点を当てます
19:10	食事及び懇親会
5月28日(火) 第2日	
9:15~10:45	(4) SA検証実験 1 過酸化水素を酸化剤とした合成反応における反応器気相部から排ガス系に至る設備において着火・爆発災害を起こす最悪シナリオ(作業ミス、設備不良)とは？ シナリオ作成に講座出席者の積極的な参加を期待しています。 ◇ケース1 反応前 室温下、溶媒酢酸エチル仕込み時に着火・爆発を起こすシナリオ ◇ケース2 酸化反応中 60℃、酢酸エチル蒸気は冷却し、反応器へ戻し、冷却部以降の排ガスは、活性炭充填層で処理とする系の着火・爆発シナリオ
11:00~12:30	(5) 混触試験 イ. 過酸化水素と塩化銅との混触危険。⇒危険性評価の盲点を検証 ロ. 消防法1類酸化性固体と第4類有機溶媒との混触発火危険 ⇒地震発生時における安全対策(保管庫の混載防止)の重要性を検証
12:35~13:00	食 事
13:00~14:30	SA検証実験 2 ありそうな事故として、合成反応操作時の異常シナリオ(誤操作、設備異常)に沿ったモデル試験、最悪シナリオとは？
14:45~15:40	質疑応答
16:30	渋川駅(又は高崎駅)解散

- 募集人員：20人(実験都合上、人数に制限が御座います)
- 参加料：会員一人 45,000 円、非会員一人 50,000 円(料金には宿泊費(ホテル)、食費、渋川駅～試験所交通費を含む) 宿泊は4人同室になります。個室をご希望される場合は、5,000円増しです。(女性は個室になる場合がございます)
- 申込方法：安全工学会宛に早めにお申し込みください。折返し、聴講券、会場案内図、請求書用紙等をお送りいたします。

